

## (参考資料)令和3年度 主要施策の成果に関する報告書 主要事業の前年度比較等

【立地推進部門】

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ数
1	立地促進費 (立地推進課)	1,035,059	14,535,635	13,500,576	企業立地促進基金の積み増しによる増  13,999,904	(事業の成果) 本社機能移転については、R3年度末までに計22件(雇用増加数約3,400人、投資額約2,350億円)の計画を認定。  (今後の課題) 本県の持続的な発展のためには、成長力のある産業を積極的に誘致することが必要。	R3:156・157 R2:149・150
2	工業団地整備推進事業 (立地整備課)	4,777,300	4,276,445	△500,855	企業立地に伴う公共工業団地の造成費用の減  △486,398  信託活用型ABL(信託活用型債権流動化事業)に係る利子の減  △14,457	(事業の成果) 茨城中央工業団地において35.8ha(1社)、茨城中央工業団地(笠間地区)において3.2ha(1社)、茨城空港テクノパークにおいて4.1ha(1社)を処分。  (今後の課題) 現在交渉中の引き合いを確実に立地につなげるため、本県の立地優位性、競争力のある価格帯や各種優遇制度を積極的にPRしながら企業への誘致活動を進めていく必要がある。	R3:158 R2:151
3	工業団地整備調整推進事業 (立地整備課)	4,442	68,710	64,268	更なる対象地選定のための調査費の増  9,021  圏央道インターパークつくばみらいの誘致活動経費の増(R3新規)  55,247	(事業の成果) 開発可能性調査を実施し、坂東市山地区において新たな県施行の開発を図ったほか、圏央道インターパークつくばみらいにおいて企業誘致活動を展開。  (今後の課題) 圏央道インターパークつくばみらい及び坂東市山地区の早期事業完了を目指すほか、新たな県施行候補地の選定に向け、必要な調査を実施する。	R3:159 R2:152

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ数
4	鹿島開発推進事業 (立地整備課)	324,858	253,798	△71,060	県有地処分推進事業に係る補助金の減 △49,913  開発財産の管理・処分に係る工事費等の減 △24,834	(事業の成果) 神之池西部地区において0.1ha(1社)を売却。  (今後の課題) 継続交渉中の引合いを確実に立地につなげるとともに、カーボンニュートラルに対応した新たな設備投資や産業集積等の動向を注視しながら積極的な企業誘致を進めていく。	R3:160 R2:152
5	工業用地等整備推進事業 (立地整備課)	357,601	222,838	△134,763	企業立地に伴う配水管分岐工事等の減 △131,298		R3:160 R2:152
6	公債費 (立地整備課)	2,361,976	2,019,451	△342,525	償還金の減 △342,525	(事業の成果) カシマサッカースタジアムの建設及び計画的な修繕等を実施。  (今後の課題) 計画的な償還を行うための歳入の確保に努める。	R3:160 R2:153

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ数
7	土地区画整理事業 (宅地整備販売課)	10,219,622	15,828,101	5,608,479	土地処分による売払収入等を財源とした県債償還金の増 6,203,454  工事量の減による工事費の減  △594,975	(事業の成果) 宅地造成: 12.8ha 保有土地処分: (TX沿線) 24.7ha (阿見吉原地区) 0.8ha  (今後の課題) 計画的に整備を進めるとともに、保有土地の早期処分の推進を図る。	R3:160・161 R2:153
8	TX沿線まちづくり 推進事業 (宅地整備販売課)	55,387,476	4,857,477	△50,529,999	県債借換等による県債償還金の減  △48,170,500		R3:161 R2:153・154
9	都市計画事業土地区 画整理事業特別会計 繰出金 (宅地整備販売課)	5,218,861	5,308,648	89,787	都市計画事業土地区画整理事業特別会計の事業費の増に伴う繰出金の増  89,787	(事業の成果) 将来負担の削減。  (今後の課題) 引き続き、保有土地の早期処分を進め、適宜、県債を繰上償還することにより、将来負担の削減に努める。	R3:161・162 R2:154